

報道関係者各位

冬季における火災予防について ～令和5年火災発生件数（速報値）～

このたび、令和5年の火災発生件数（速報値）について取りまとめましたので、下記のとおりお知らせします。

昨年1月から2月にかけては、例年になく建物火災が多発しました。今年に入ってから、既に4件発生しており、1名の方がお亡くなりになっております。

これから、更に気温が低くなり、火気の取扱いが増える時期を迎えますので、県民の皆様に対し、次の事項を重点的に呼びかけてくださるようお願いいたします。

- ストーブ
  - ・周囲に燃えやすいものを置かない
  - ・外出時や就寝時は必ず消す
  - ・ストーブの近くで洗濯物を乾かさない
- こんろ
  - ・調理中に離れない
  - ・周囲に燃えやすいものを置かない
- 電気コード
  - ・使っていないプラグは抜いておく
  - ・プラグ、コンセントは定期的に掃除する
  - ・家具などの下敷き、折れ曲がりに注意する

記

令和5年の火災発生件数（速報値）

建物火災	181件	（対前年 +5件）
林野火災野火等	110件	（対前年 +32件）
車両火災	27件	（対前年 -3件）
合計	318件	（対前年 +34件）

- 令和5年の火災発生件数は、過去10年間（H26～R5）で多い方から5番目。

【別紙グラフ1】

- 火災による死者は13名。過去10年間で平成30年と並び最少。【別紙グラフ2】
- 令和5年1月には、建物火災が38件発生。1か月あたりの件数としては、過去10年間で最多。（次いで、平成26年11月の29件）【別紙表】
- 年間で最も気温が低く、暖房器具など火気の取扱いが多い1月～2月に限れば、建物火災発生件数は、例年に比べて大幅に増加。1月だけでも、例年の2か月分に相当。【別紙グラフ3】

問合せ先：防災くらし安心部 消防救急課  
課長補佐 中村 精 電話：023-630-2226  
報道監：防災くらし安心部次長（兼）危機管理広報監 柴崎